

いんすいしげん  
飲水思源

町長 松岡市郎

## 富山県朝日町には開拓ルーツがあった

職員を滋賀県にある全国市町村国際文化研究所へ派遣していることがご縁で、全国の町村議員を対象に、ドキドキしながらなれない講義を行うことになった。富山県朝日町から受講に来ていた2人が東川町のまちづくりに関心を持ったように、懇親会の席上、朝日町でも私の話を聞きたいという。「本当かね」と疑心を持っていた。

数カ月後、その一人から町長に就任したとメールが入り、どうも本気で話を聞きたいようだ。小さな町の町長が他の町へ行って町づくりを語るのとは出過ぎだと考え、断り文句を考えていたところだったが、あきらめず何度も要請をいただいた。本町は富山人らの開拓によって今日の姿があるということもあって、以前から深い関心があった。

朝日町を調べてみると、「下新川郡」にある。また郷土史「ふるさと東川」を紐解くと、富山県開拓者の出身地は、圧倒的に「下新川郡」が多いのに気づいた。120年ほど前、夢を持って郷

土を離れた先祖の地の方々にお礼を申し上げたいという気持ちが強まった。今年には富山県人によって稲づくりが行われてから120回目の米作りとなる節目の年でもある。

富山県人は粘り強いのかも知れない。自分の考えを成就するまで諦めないという気質があるのであろうか。笹原靖直朝日町長も然りで、町長の粘り腰の強さに惹かれ「よし、行こう」と訪ねた。当時の開拓者の親戚筋に当たる数名の方々が話を聞いてくれ、感激した。本町の開拓者は、下新川郡の入善町朝日町、そして今は魚津市からという方が多いようである。第一印象は「人々の心が温かい」「家屋の周囲が実にきれい」、そして「現地の言葉で話していることはよく分からない」である。朝日町の自治に学ぶべきところが多い、と感じた。キトウシ山から町内を眺望する時、眼前に広がる手前側の水田は、富山県人によって開拓されたものである。ありがとう。

## 狗養童子の島 (一般書)

著：飯嶋 和一 刊：小学館



西村常太郎は15歳で日本海に浮かぶ隠岐「島後」へ流刑となった。大塩平八郎の挙兵に連座した父、履三郎の罪によるものだった。翌年、常太郎は島の人々から、狗養(ぐひん)が宿するという「御山」の千年杉に初穂を捧げる役を命じられる。そこは狗養に許された者しか踏み入ることができない聖域だった。やがて常太郎は医術を学び島に医師として深く根を下ろす。しかし島は徐々に外部から重い暗雲が忍び寄っていた。

## マレフィセント (映画、DVD)

ウォルト・ディズニー・ジャパン



ある王国で念願のロイヤル・ベビー、オーロラ姫の誕生を祝うパーティーが開かれた。招待客たちが見守る中、3人の妖精たちが次々に幸運の魔法をオーロラ姫にかけていく。だが3人目の妖精の番になった時、「招かれざる客」の邪悪な妖精、マレフィセントが突如現れ、オーロラ姫に恐ろしい呪いをかけてしまった。なぜマレフィセントは呪いをかけたのか？誰も知らない「眠れる森の美女」が今日覚める。(97分)

## 貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館  
☎82-4245

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★

1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>



## 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

述：ムヒカ 編：くさば よしみ 絵：中川 学 刊：汐文社



2012(平成24)年、ブラジル・リオデジャネイロで、環境悪化した未来の地球について話し合う会議が開かれました。これといった名案が出ないまま会議も終わりに近づいた時、ウルグアイのムヒカ大統領が演説の壇上に立ちました。人々は最初、ネクタイを付けず質素な背広姿の大統領にそれほど関心を抱きませんでした。しかし演説が終わった時、大きな拍手が沸き起きたのです。